

清恵会医療専門学院同窓会報

第11号
令和6年3月
清恵会
医療専門学院
同窓会発行

第14回同窓会開催にあたって

同窓会会長 1看17期生 山本 奈美

同窓会の皆様におかれましては、ますますご健勝で活躍のことと心よりお喜び申し上げます。日頃より同窓会活動にご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。清恵会医療専門学院は開校46年を迎えています。3年に一度の同窓会を開催してりましたが、コロナ禍により中止となり、5類に分類された今も感染が広がったりと終息には至っておりません。その為同窓会開催にあたっては、感染の面を考慮した形式となり、ご迷惑をおかけしております。

今春99名が卒業され、同窓会会員は約490名となりました。大人数の為、同窓会案内のがきが届かないなどありますが、学院のホームページで会報を閲覧できるようにしておりますので、皆様のご理解とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

清恵会病院が移転して9年が経ちます。ケアミックス病院として活動しており、清恵会病院の理念にもあるように地域に密着した医療を心掛け日々邁進しております。

私自身、看護学院を卒業し28年が経過し、現在も清恵会病院の本院で勤務しています。消化器内科に配属されICUや整形外科などあらゆる部署へ異動になり、現在は師長として脳外科病棟で勤務して

います。スタッフの経験が浅く大変なこともあります。他職種と協同し早期よりリハビリを行うことで患者様が見ると回復していくのを目のあたりにでき、すぐくやりがいがある病棟です。今後患者様のことを第1に考え行動できるよう初心を忘れずスタッフ指導を行ってまいります。

同窓会が開催した際には、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

同窓会に寄せて ～卒業生からの メッセージ

1看7期生

鶴谷 伊久代

長引く新型コロナウイルス感染症の影響により開催が危ぶまれていた同窓会ですが、今年度は無事開催できますことを心よりお祝い申し上げます。

1月1日に令和6年能登半島地震が発生いたしました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様にお見舞いを申し上げます。被災地域で支援活動に尽力される卒業生の皆様に心から敬意を表します。

私は令和3年より清恵会医療専門学院の教務部長に就任しました。学院はこの春、第1看護学科45期

生、第2看護学科47期生、准看護学科43期生が卒業し、創立以来4,960人の看護職者を輩出してきました。しかし、少子・高齢化の進展、4年制大学への志向増加による受験者数・入学者数の減少等による社会的な必要性の低下、施設の老朽化等の課題があり、令和6年度をもつて理学療法士科、第2看護学科、准看護学科を閉科することが決定しております。卒業生の皆様には大変寂しく思われるのと同時に母校の将来につきまして不安を感じておられることと存じます。閉科後は放射線技師科(1部、2部)が看護学院に移転し、学院が一つに統合される予定です。創立以来の大きな転機であり、学院の様相も大きく変化することが予測されますが、同窓生の皆様には今後も学院の動向を温かく見守っていただき、一層のご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

令和7年度には改修工事が始まります。今回の同窓会は改修前の看護学院で開催致します。懐かしい母校を見て回りながら、若かりし学生時代を回想し、楽しい時間をお過ごしいただければ幸いです。ご参加を心よりお待ちしております。



1看24期生

森崎 真紀

同窓会開催おめでとうございませう。同窓生の皆様にはお元気で活躍のこととお喜び申し上げます。私は清恵会医療専門学院を卒業し、今年で21年目になります。入

職時は20名以上の同期生がいたにも関わらず、1人手術室へ配属され、同期生と悩みを共有できないもどかしさを感じながら必死に器械の名前を覚えることから始まりました。手術室は明るい上司や先輩、クランクさんに助けられ、辛いことも四季折々のイベントを企画し誘ってくれる先輩たちのおかげで乗り越え、成長することができました。実習指導者になるころには学生指導や後輩育成を通して、厳しいだけでは人は育たないことを痛感し悪戦苦闘したものです。10年目に入り上司の強い勧めから手術看護ではなく感染管理認定看護師を目指すことになり現在に至ります。入試ではスムーズに合格できず、一か月後の繰り上げ合格となり上司を困らせたことは今でも笑い話です。そして、資格取得後の配属先は医療安全室でした。管理職として経験もない未熟な自分が、医師や師長を含めすべての職員への実践・指導・相談をしなければならぬという重圧に押しつぶされそうな毎日、今も思い返せば辛い記憶が残りますが、10年経った今では楽しく仕事ができ、自身の役割を果たす基盤ができたと思います。一生懸命向き合えば信頼関係を築くことができるとうわかったこの経験は今の私の財産です。これからも、目の前の問題から逃げず患者だけでなく関わる人の役に立てるよう成長していければと思います。最後に同窓生の皆様の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

第14回同窓会開催、おめでとうございます。同窓生の皆様には、お元気でご活躍のこととお喜び申し上げます。私が清恵会医療専門学院を卒業し、看護師として働いて21年目になります。入職当初は、泌尿器科に配属され先輩方に指導していた大きながら、なんとか働いていました。その後、整形外科、小児科、内科、外科、療養型といろいろな部署で勤務しました。整形外科では患者様のADL拡大を目のあたりにする事で、回復していく様子を見守ることが励みになりました。

それから、希望していた小児科に配属となった際は、児と関われることの楽しさや親御様との関わり難しさ、大変さを経験しました。

内科では、心不全など繰り返される疾患が多い中で、少しでも患者様の訴えを傾聴できるように考え動きました。外科では、手術や検査で忙しい中でも終末期の患者様に少しでも寄り添える様、カンファレンスを行い看護を考えるようになっていきました。そして療養型では患者様の今後を考え、どうしたらよいか話すことができるようになっていきました。

今は副主任として後輩育成に携わり、先輩方に指導をして頂きながら、色々な病棟での経験を元に指導をしている日々です。

今後、こんな看護師になりたいと思ってもらえるよう自己研鑽に励み、後輩育成に力を注ぎたいと思います。

同窓会についてのお知らせ

看護学院が改修工事となり、今ある学院の内観は今年が最後になります。そのためこの機会に第14回同窓会総会を看護学院で執り行う事にしました。会食の機会はありませんが、第1期生から今年卒業した学年のクラス写真を展示する予定です。同窓生の皆様と親睦を深める場になれば嬉しいかぎりです。同窓会役員一同、ご参加を心よりお待ちしております。

住所・氏名の変更などもホームページ上で可能ですので、ご活用いただければ幸いです。